

令和6年7月 定例教育委員会

■日 時 令和6年7月18日(木)15:00～16:30

■場 所 高森町公民館会議室

■参集範囲

教育委員:高野教育長、湯澤委員(教育長職務代理)、熊谷委員、庄司委員、松尾委員
事務局:清水事務局長、芦部公民館長、伊藤こども未来係長、松島こども未来係長、寺沢スポーツ・文化係長、木村(紘)スポーツ・文化係長、木村(彰)給食センター所長、前田係長(こども家庭総合支援室)
保育園:大平下市田保育園長、関口山吹保育園長

1. 開会

2. 前回の会議録の承認

承認

3. 教育長あいさつ

教育委員の皆様には、教科書の採択についてお骨折り頂き、感謝申し上げます。今日は定例会議の後、三校の校長から学期末報告を行う。

4. 教育長からの報告

- ・教育長から飯伊市町村教委連絡協議会の説明(今回は無し)
- ・専決処分等の承認について(今回は該当無し)

5. 協議報告事項(各係からの報告)

◆事務局長

- ・R7年度保育士(正規)の募集について

清水事務局長

今年度、若干名の正規保育士の募集を行っている。7月の末まで。今後は、定期的に人員を雇用し、年齢層のバラツキの解消も含めて、計画的に募集をかけていきたい。

◆こども未来係

学校教育担当

- ・学校の夏休みについて

伊藤係長

学校の夏休みは7月24日～8月22日まで。

また、夏休み後を目途に、学校電話の自動応答化を進めていく。いわゆる業務時間外は音声の流れ、業務時間への電話を促すもの。

湯沢委員

緊急時に連絡するための教員の電話番号は公開されてるのか。

伊藤係長

校務用携帯として、学校が持つ携帯電話番号は、保護者に共有されている。

高野教育長

今回の電話の自動応答については、当初は連絡先を役場に設定したが、あくまでも保護者対応は学校の業務であり、近隣市町村の様子も調査したが、ほとんどが校務用携帯へ連絡する手法であった。今後は、緊急連絡先を校務用携帯とする方向で進めていく。

こども支援担当

・下市田保育園改修について

松島係長

下市田保育園改修について、明日(7/19)区民向け説明会。保護者からは工期を早めてほしいとの意見も。現在は、解体を始めている。施工業者とも相談しながら、2月末までに完了できるよう進めている。工事の内容はHPに図面あり。進捗状況もHPに順次掲載していく。

代替園である、みつば保育園のバスについて。8時台のバスを出してほしいという要望により、8時5分発のバスを来週から運行する。また、バス乗車しない世帯については1世帯1回の往復あたり100円を、4か月ごとに実績に応じて補助予定。

・9月からの第3子保育料無償化について

松島係長

9月からの第3子保育料無償化について、県補助も充当し進めていく。制度変更については、下記の通り。

	今まで	R6. 9から
第3子	同時入園であれば無償	第3子であれば無償
第2子	同時入園は50%	第2子であれば50%負担
		低所得世帯であれば無償
第1子	全額負担(階層によっては無償もあり)	低所得世帯であれば50%負担
備考		これを導入することで年間8,000千円の持ち出しが増える。うち半分は県補助。実質の町負担は4,000千円になる。

高野教育長

今回の該当者は何人になるのか。

松島係長

今回の変更で無償化等になるのは51人。

◆スポーツ・文化係

スポーツ担当

・育成会夏休みキャンプについて

木村(紘)係長

育成会キャンプの申し込み状況について。今年は、秋にも小谷村の子どもたちが来られるため、夏はデイキャンプとした。全体で15名程度の参加予定。

松尾委員

育成会キャンプの集まりは例年に比べて少ない。親子参加のイベント増やしてもらえると参加率高まるのでは。ぜひ工夫してほしい。

・サッカー場説明会の開催について

木村(紘)係長

サッカー場料金説明について。7/26、29予定。サッカー協会とも金額等調整中。料金の細かいところは条例を組んでいるところなのでまだ正確には決定していないが、前回の資料と比較しても、大まかなところからは動かない予定。

湯澤委員

サッカー場について、条例に出す前に教育委員が見学する機会はあるか。教育委員としても現状を把握し、料金等についても理解しておきたい。

清水局長

近日中に調整して設定する。

・カヌーコースの設計料について

木村(紘)係長

8月補正にて、国民スポーツ大会のカヌーコース設計料を計上する。県の補助金の内示が出たため、動き始める。設計費は6,600千円。R8でカヌーコース完成予定。ビーチバレーはR8から着手。R8の準備大会は駒ヶ根で実施のため高森では使わない。

もう一つの補正予算案は、クラブハウス内の音響の整備。当初は業務委託で進めていたが、備品購入として進めていく。

湯澤委員

国スポ大会については、補助金などが出ると思うが、その後の維持費などは大きく負担が出てくるのでは。

木村(紘)係長

例えば整備費は補助率は10/10出るが、リハーサル大会の実施には1億を超える事例もあり、しかも補助率は半分しかないと、町の負担もだいぶ大きくなると考えられる。今後の維持管理についても、もちろん維持費は発生する。

文化担当

・地域人材教育の動きについて

寺沢係長

地域人材教育の取り組みが動いている。取組内容によって、役場職員、地域ボランティアが入っていく。南小の6年3組が不動滝でのイベントを8/2、3に実施予定。児童が作成したスタンプラリー、ミニゲーム、ペイントなど。今日の常会文書でチラシ配布。

・平和へのかけはし使節団の動きについて

寺沢係長

平和バスの申し込み状況については、小学校3名、中学校7名、高校生2名、親子参加1組の一般は合計14名。教育委員の皆さんにも出発式の通知を郵送済み。ぜひ、ご参加を。

熊谷委員

平和バスの申込者が少ない。去年は申し込みがたくさんあったが。

寺沢係長

学校側に行事等が重なったか確認したが、特にないとのこと。原因は不明。

湯澤委員

町の行事に学校がどう関わっていくのか。平和学習とセットで関わっているという部分を学校側でも強調してほしい。

松尾委員

北小学校では校内で報告会の予定があると聞いている。

庄司委員

このような活動がずっと続いていることが素晴らしい。去年の報告会も皆さん真剣に取り組んでくれたことが伝わった。去年はコロナあけで、再開したイベントに多くの方が参加したと予想できる。今年はいろいろとイベントが再開している中の一つとして、落ち着いてしまったところはあるのだろう。

◆こども家庭総合支援室

◆町立図書館

・ボードゲーム体験 8/2 18:00～@町図書館
対象者は中学生以上 定員15名

◆学校給食センター

◆保育園

6. その他

齊藤支援指導主事

8/21に福岡女学院大学の斎藤富由起教授の研修会を計画している。ぜひ教育委員の皆さんにも参加頂き、様子を見て頂きたい。

清水局長

8/9、福祉センター大ホールで終日、令和5年度の行政評価の公開会議が行われる。ぜひ参加を。

7. 日程等

07月20日(土)10:00～ 平和バス結団式及び事前学習会
07月24日(水)～07月26日(金) 中学生職場体験(スポーツ・文化係、図書館に各3名)
07月24日(水)～07月26日(金) 夏休み宿題サポートプロジェクト9:00-11:00(各施設)
07月27日(土)～07月28日(日) 資料館夏休み親子体験教室 9:00-11:00
07月30日(火)教育セミナー 終日
08月02日(金)町図書館ボードゲーム体験 18:00-
08月02日(金)～08月03日(土)南小6年3組不動滝イベント(地域人材教育)
08月03日(土)～08月10日(土)明治大学野球部合宿
08月04日(日)13:00～ 明治大学野球教室@飯田県営球場(綿半飯田野球場)
08月05日(月)～08月07日(水)平和へのかけはし使節団広島平和バス
08月09日(金)09:00～ まちづくりプラン外部評価会議@福祉センター大ホール
08月10日(土)09:00～16:00 育成会ふれあいキャンプ

8. 次回教育委員会開催日

令和6年8月22日(木)16:00～@公民館2F学習室

9. 閉会

《南北小学校及び中学校から学期末報告》

高森中学校高宮校長

- ・修学旅行では8名が欠席した。修学旅行は大きなイベントであり大切な経験の場であるが、学校内の中間教室や町教育支援センター「ぱれっと」などが、この子たちにとって学校生活や社会生活に参加する大切な場となっている。
- ・9月に開催する文化祭は60周年の節目の年となる。記念誌の制作なども企画している。午後の3日間開催。1日目のスタート開会式で、セレモニーを開催する予定。

湯澤委員

文化祭は中学生がいきいきする場。主体性を大切にしてほしい。

熊谷委員

先日の保護者懇談会に参加。先日、斉藤支援指導主事からも岡山市総社市の協働学習について報告を受けたが、子どもたちも先生の呼びかけで、意見交換をする場などを見ることができた。

松尾委員

金融教育などを上伊那では実施している。高森中学校でも、ぜひ実施を検討してほしい。

高森南小学校田本校長

- ・つなげよう→授業づくり、学級づくり、地域保護者との関係づくりをモットーに進めてきた。
- ・だが、複数の教諭が療養休暇に。今は、学校が一丸となって、学校運営を行っている。
- ・ICT利用は増えてきたが、今までの授業観が変わらないと、使い方は変わらない。
- ・また、人間関係づくりでは、縦割り班遊びの実践を重視し、導入している。

庄司委員

校長先生からの発信は素晴らしい。学級懇談会の参加促進への工夫や取り組みもどんどん仕掛けていくことを進めてほしい。

先生方の不在は、大変な問題だが、現実的には難しいとは思いますが、みんなでそれを考えられるような場になると良い。

湯澤委員

大変なご苦勞をされている。人が増えれば不登校も増え、また保護者もいろんな考え方を持っている。今、南小ではその過渡期にあると感じている。
また、飯田下伊那でも高森町は住みやすいということで選んでもらえる町だが、いろんな考え方も集まるということ。

先生方はきちんとやりたいということもあるだろうが、パーフェクト、100%を目指すということは無理ではないか。学級懇談会に来ないのは学校の責任かどうか。保護者が来やすいようにマジックショーのことも聞いている。このように地域の方々の協力を得て、学校運営を助けてもらうことは重要である。

高森北小学校辰野校長

- ・ICT教育→教師が苦手です。今までの活用と比較すると減っているという声も聞いている。持ち帰りの状況も学年によって違うとの話しもある。是非、今後は持ち帰りも含めて、積極的に活用していきたい。
- ・地域の皆さんのご協力のおかげで、ほたる祭り、音楽会などを実施できた。
- ・岡山市総社市での視察の取り組みを早速に導入している。子どもたちの力を信じ伸ばしていく教育を進めていきたい。

湯澤委員

音楽会、参加させて頂いた。みんなで作り上げようとしている、とても良い音楽会だった。山吹保育園の参加もあり大変楽しかったと聞いている。

湯澤委員

認知症サポーターの授業とは、どのような内容か。

清水事務局長

健康福祉課が主体となり、子どもたちの世代から認知症についての理解を含めてもらうことを目的とした授業である。

庄司委員

北小はいろんな体験ができる学校。音楽会も先生方の支え合いも見える。家庭も巻き込み家庭パワーアップ。総社市の取り組みも、すでに校長先生が取り入れていることが良い。ビー玉貯金も、子どもたちの良い行為を可視化することが素晴らしい。

音楽会、南小も北小も素晴らしかった。音楽会が最終地点ではない。あの時期に行くことには意味があり、音楽への関心や興味などを引き出すことが重要。あの場所で音楽会を実施した、そこから子どもたちにどのような力が備わったのか？ということを検証することが重要。

山吹保育園関口園長

遊びや対話を通じて子どもたちは落ち着いてきた。今、子どもたちはお化け屋敷を作っている。喧嘩をしながらもお互いが役割ができており、その姿をみると4月に担任が苦しみながらも保育をしてきた成果が見えてくる。

4月の言葉を発せなかった子どもたち、聞くことができなかった子どもたちが、遊びや対話を通じて成長している姿が見られる。

ルールを守った子どもを褒めた際に、その感情を親に伝えられない事案もあった。子どもと親の会話についても、保育園が少しでもお手伝いできることがあると感じている。

庄司委員

保育士とは親と子どもをつなぐ仕事だと改めて感じた。親は子を分かっているつもりでいるが、なかなか言葉や気持ちが親子間でできていないこともある。そこに关わるのが保育士だと感じた。

また山吹保育園の雨の音、これが正に音楽に繋がっていくこと。雨の中、傘をさして歩くなど、こういう経験をたくさんしてほしい。

湯澤委員

中学校で、親子の気持ちや会話にテコ入れしようと思っても難しい。やはり、保育園の時からそこに关わることが重要であると感じた。

小中学校も同様だが、保育においても分析学が重要。いい授業をやる、というのは、教師側の主観。そうではない。研究授業とは子どもを知ること。

子どもたちの気持ちに大人の主観を入れない。そのままの言葉を感じてほしい。ぜひ、小さいときから、こういう活動を大切にしてほしい。

庄司委員

こどものつぶやきなどをまとめたものがあるが、先生方が子どもの言葉からハッとしたことをまとめることなどが大切。

湯澤委員

そういうことが苦手な先生もいるから、だからこそ、そういう意識を持って授業を行うことが、子どもを知る、子どものつぶやきを拾うことになる。